



2023年5月期（31期）

決算説明会資料

2023年 7月12日

株式会社インターアクション

証券コード：7725

※本決算説明会の内容につきまして、ご参加される方による
録音、録画はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

Agenda

- ① 通期業績サマリー
- ② 2024年5月期 通期連結業績予想と今後の見通し

-Appendix-

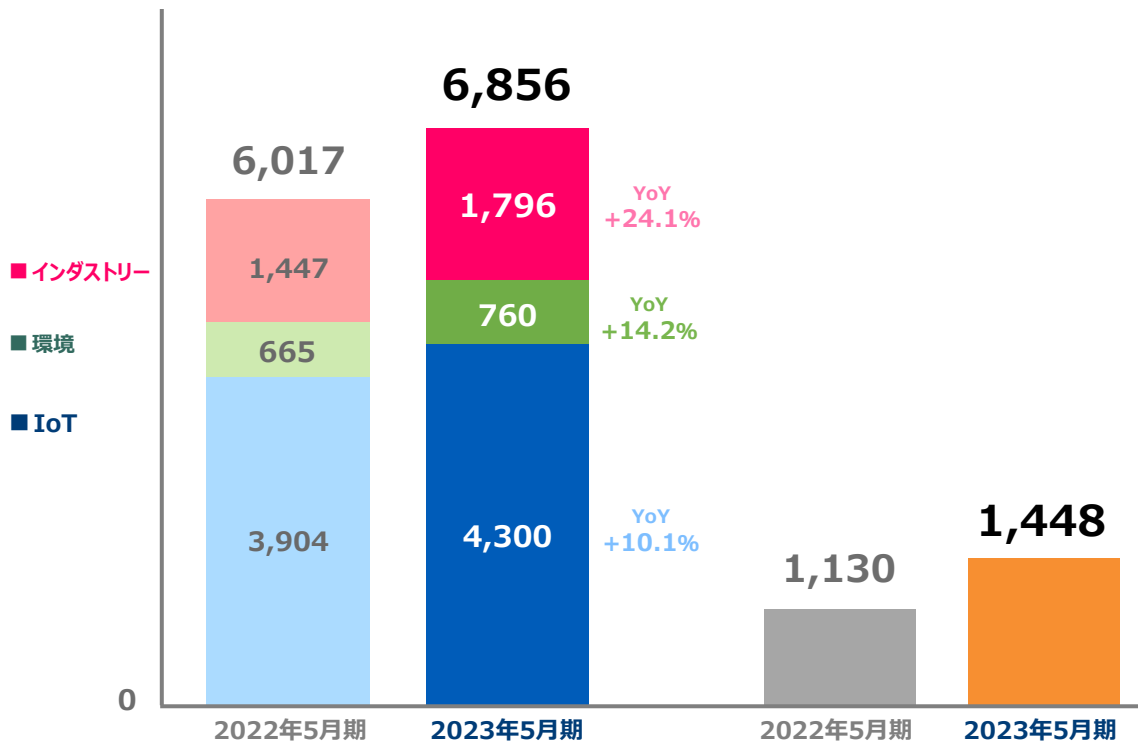
通期業績サマリー

POINT

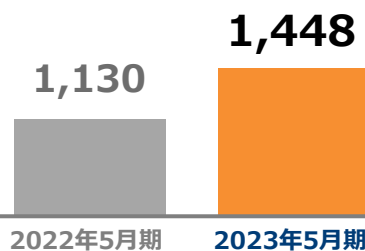
- 主に、IoT関連事業セグメント及びインダストリー4.0推進事業セグメントが好調に推移し、連結業績は前期比で増収増益となった。
- **IoT関連事業セグメント**：海外顧客向け検査用光源装置の販売が好調に推移。
- **環境エネルギー事業セグメント**：乾燥脱臭装置及び排ガス処理装置本体の販売が好調に推移。
- **インダストリー4.0推進事業セグメント**：精密除振装置及び歯車試験機の販売が好調に推移。

(百万円)

売上高



営業利益



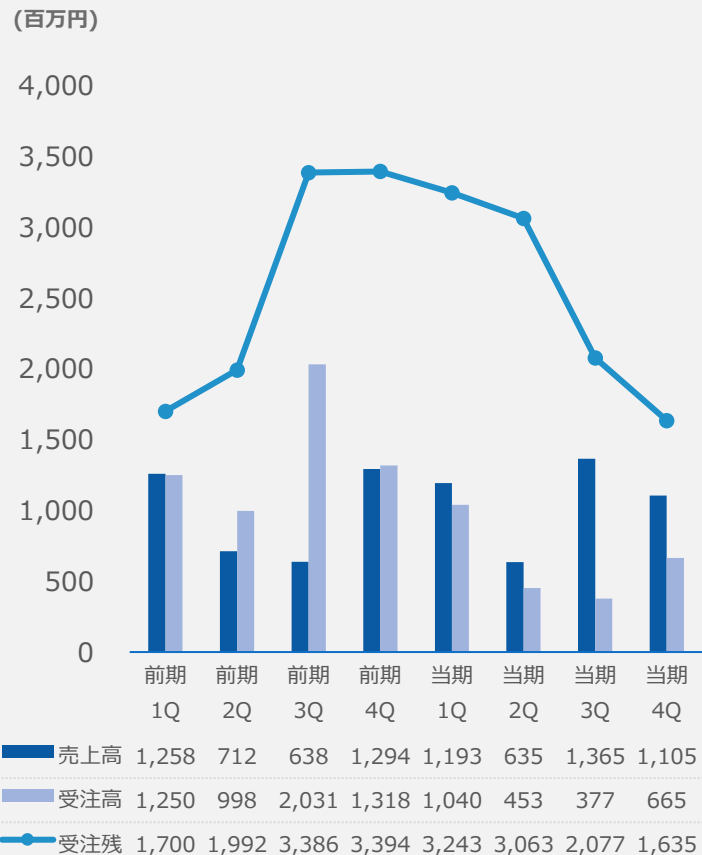
主要な経営指標の推移

(百万円)	2022年5月期	2023年5月期	前期比 増減率 (%)
売上高	6,017	6,856	14.0
営業利益	1,130	1,448	28.2
経常利益	1,196	1,503	25.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	761	981	28.9
1株当たり 当期純利益	69.58円	90.12円	-

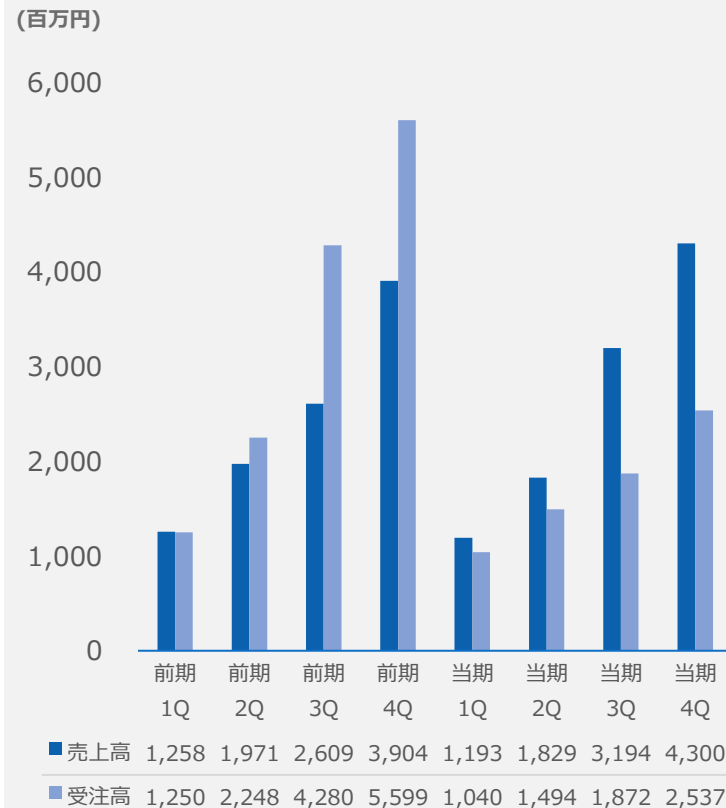
POINT

- 海外顧客向け光源装置の販売が好調に推移したため、セグメント全体としては前期比で増収増益となった。
- 受注高が前期比で減少している要因は、前期において、海外主要顧客向け製品の受注が集中していたことや、当期において、顧客であるイメージセンサーメーカーがスマートフォン等の最終アプリケーションの需要減を背景に、設備投資に対して一時的に慎重になったこと等が要因であると認識。

売上高・受注高・受注残高 推移 (四半期毎)



売上高・受注高 推移 (累計)



外部環境の主な変化

(1) 市場環境

- (+) ハイエンドイメージセンサの普及と車載向け等用途拡大により引き続きイメージセンサの市場は中長期的に成長すると推測。



(2) 社会情勢

- (-) 社会情勢の不透明感による影響
 - ・スマートフォン等の最終アプリケーションの需要は引き続き停滞傾向。新型コロナウイルス等による地政学的リスクも継続。



(3) 顧客動向

- (+) 国内顧客向け製品 需要堅調に推移 来期も継続
- (-) 海外顧客における新規設備投資 保守化傾向継続



内部環境の主な変化

(1) 研究開発

- (+) 新規光源装置の開発
 - ・一部主要顧客向けに従来品よりも検査効率等を向上させた光源装置を提供予定。(来期～再来期に導入予定)



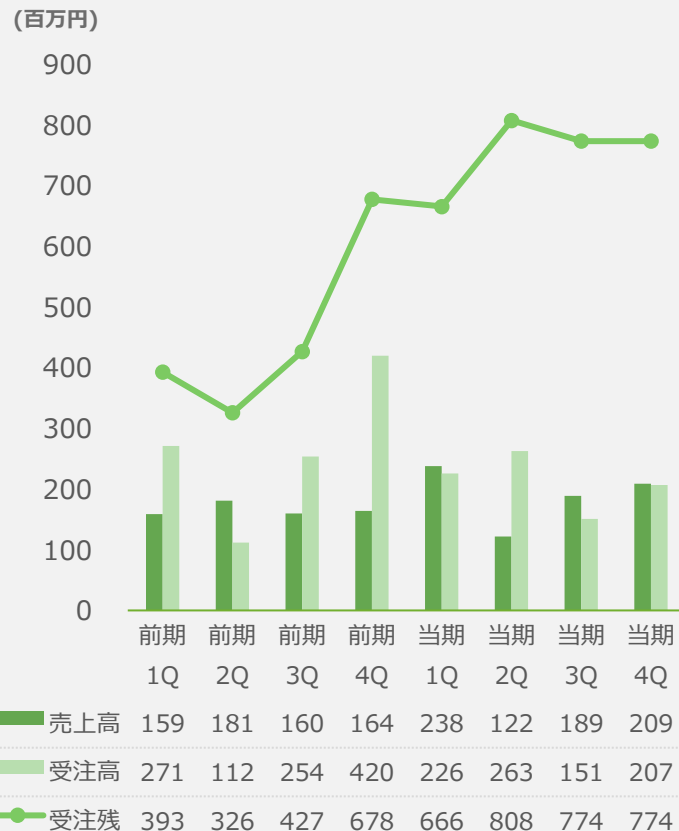
(±) 新規瞳モジュール®の開発

- ・更に競争優位性を向上させるべく、研究開発を強化。長崎開発センターを有効活用する。

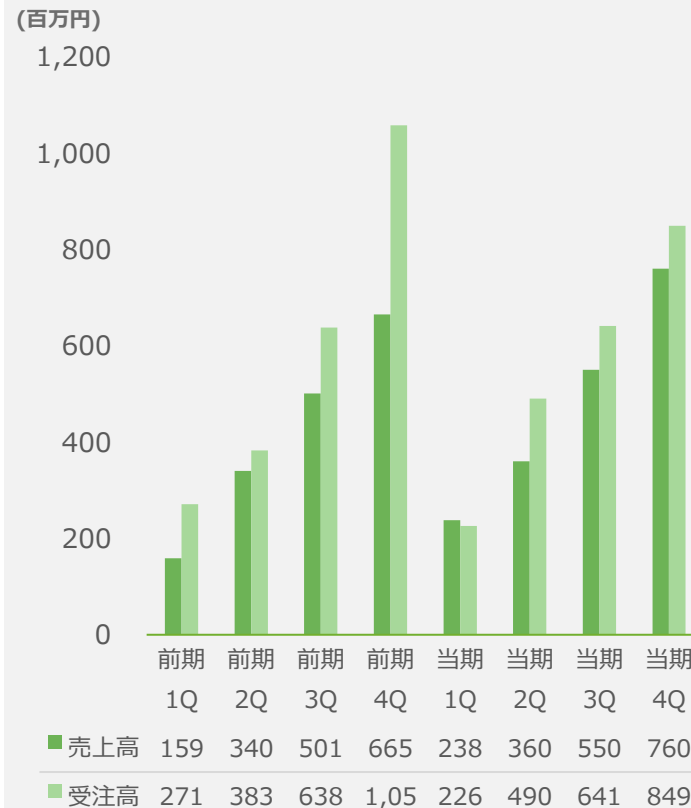
POINT

- 乾燥脱臭装置本体の販売が好調に推移したため、前期比で増収となった。
- 一方で、部材価格の高騰やスポット的に収益性の低い案件が発生した影響等により、前期比で減益となった。
- 引き続きAEセンサ（故障予測、保全システム）の製品化に向けた取り組みや、次世代エネルギーに関する新製品の模索等、事業成長に向けた活動に注力。

売上高・受注高・受注残高 推移 (四半期毎)



売上高・受注高 推移 (累計)



外部環境の主な変化

(1) 市場環境

- (-) デジタル媒体への移行
 - ・特に大手印刷会社において、設備投資を紙媒体からデジタル媒体に移行傾向。
- (-) エネルギー、資材の値上げ
 - ・電気、燃料、紙、インキ等の値上げによって印刷コストが増加傾向。顧客の設備投資に悪影響



(2) 社会情勢

- (-) 世界的な部材不足
 - ・引き続き本体装置、メンテナンスともに納期が後ろ倒し傾向。部品によっては納期が1年以上となっている物もあり、調達が遅れている。



(3) 顧客動向

- (+) アフターコロナによるリバウンド需要
 - ・広告チラシの需要回復や、アフターコロナのリバウンド需要により、引き続き本体装置の引き合い増加。



内部環境の主な変化

(1) 新規事業への取り組み

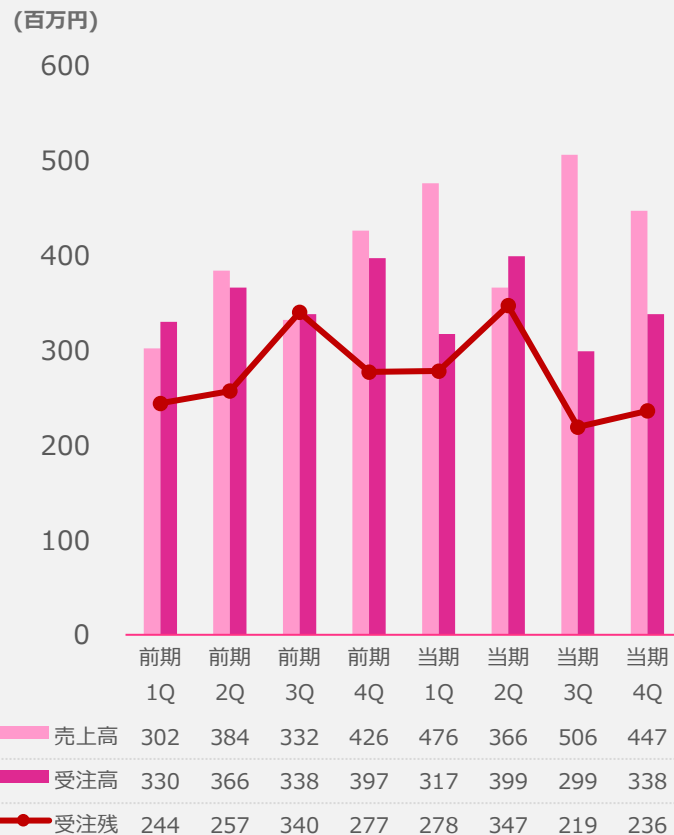
- (+) AEセンサ 試作機の評価段階
その他、新規事業も模索中



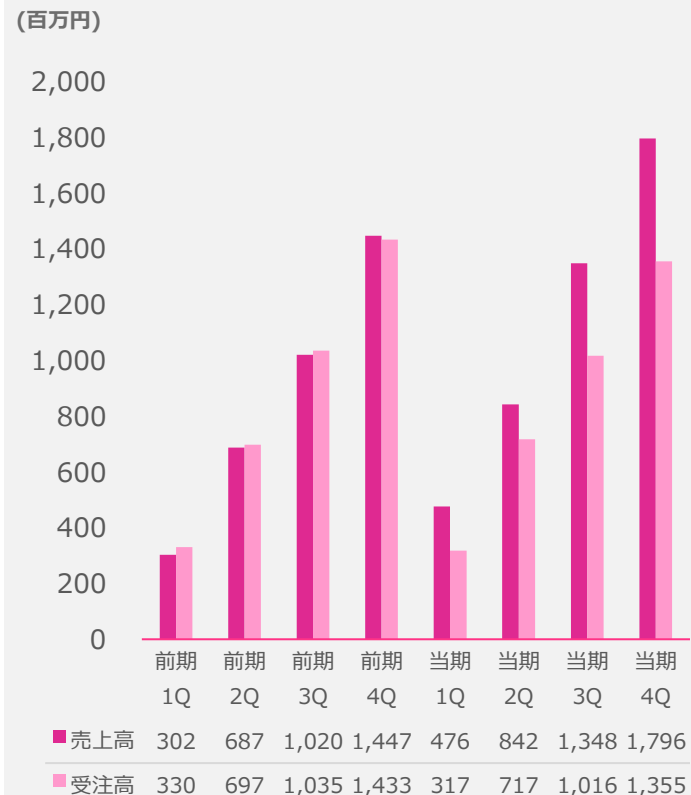
POINT

- セグメント全体として前期比で増収増益となった。
- 精密除振装置：国内顧客及び海外顧客向け製品の販売が好調に推移したため、前期比で増収増益となった。モニタリングアプリ付き装置の受注獲得。
- 歯車試験機：国内顧客及び海外顧客向け製品の販売が好調に推移したため、前期比で増収増益となった。FA画像処理装置は歯車分野以外においても需要発生。

売上高・受注高・受注残高 推移 (四半期毎)



売上高・受注高 推移 (累計)



外部環境の主な変化

(1) 市場環境

- (±) 工作機械業界の市況
- ・自動車の生産台数は引き続き減少傾向。
 - 一方、産業用ロボットや建設機械向けの需要は堅調に推移。歯車製造業界へも波及。



(2) 社会情勢

- (-) サプライチェーン 不安定
- ・部材の入荷遅延や価格が上昇している状況は継続。
 - ・半導体不足の影響により自動車産業へ悪影響。



(3) 顧客動向

- (+) 海外顧客向け 歯車試験機
- ・工場自動化に向けた産業用ロボットに対する需要は引き続き堅調に推移。
 - 中国、インド等からの引き合い増。



内部環境の主な変化

(1) 新規製品に対する引き合い増加

- (+) FA画像処理装置
- ・歯車分野以外でも引き合い発生。
 - 新たな市場への参入を目指す。

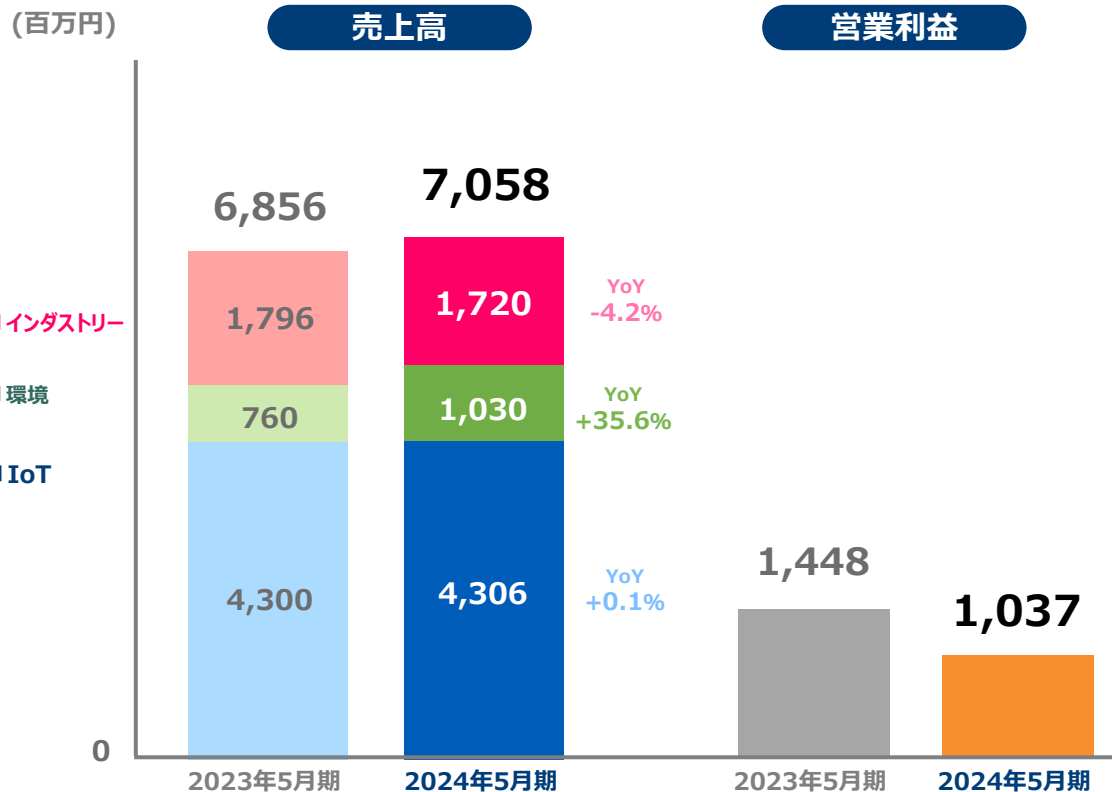


- (+) モニタリングアプリ機能付きの除振装置 受注獲得

2024年5月期 通期連結業績予想と今後の見通し

POINT

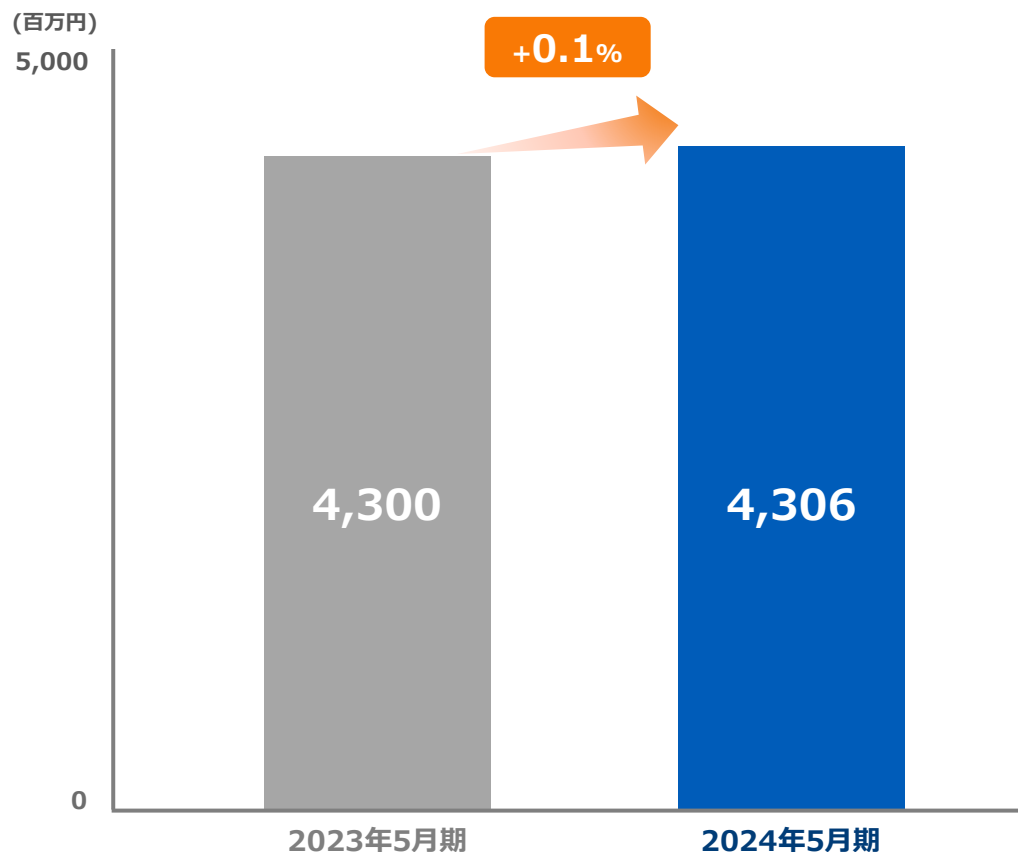
- 売上高は増加する見込み。一方で、主にIoT関連事業及びインダストリー4.0推進事業において、収益性の高い製品の販売構成比が減少する見通しであるため減益を見込んでいる。



主要な経営指標の推移

(百万円)	2023年5月期	2024年5月期	前期比増減率 (%)
売上高	6,856	7,058	2.9
営業利益	1,448	1,037	△28.4
経常利益	1,503	1,025	△31.8
親会社株主に帰属する当期純利益	981	655	△33.2
1株当たり当期純利益	90.12円	60.49円	-

IoT関連事業 売上高

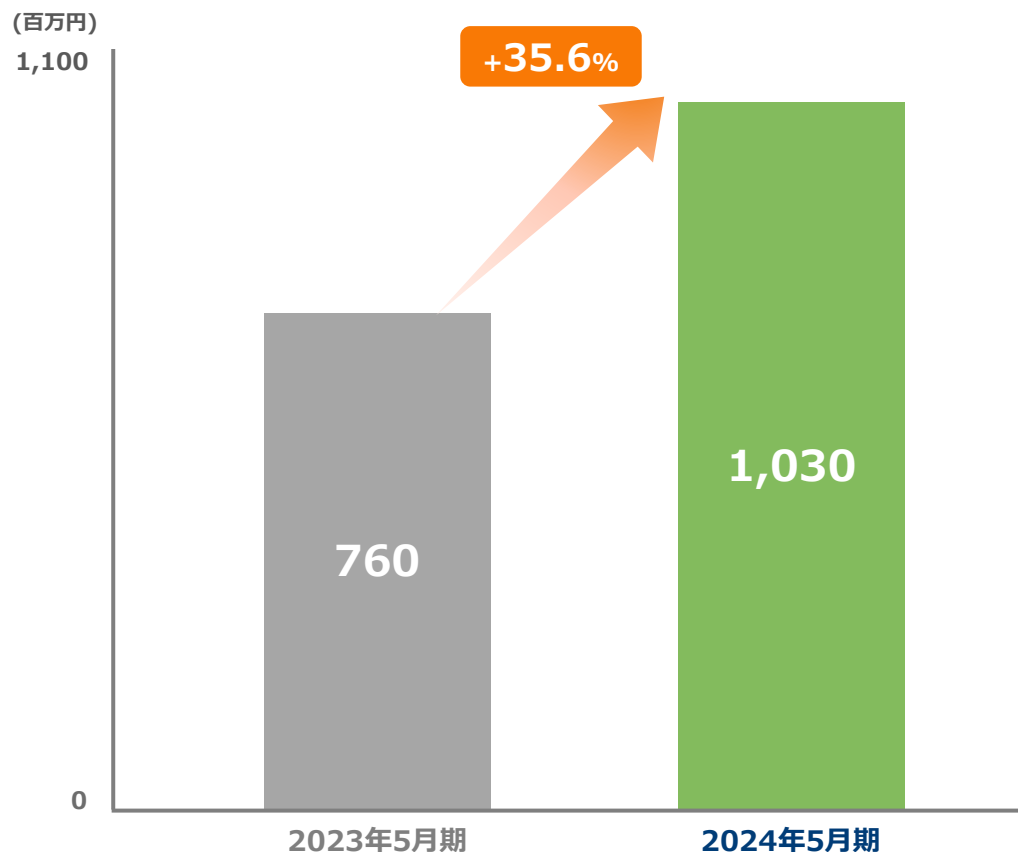


+
・国内顧客については、顧客側における生産キャパシティ増強に伴い設備投資が堅調に推移する見通し。

-
・海外顧客については、一部地域でスマートフォンの需要及び販売数量の停滞が予想されることから、顧客側の設備投資は慎重な状況が継続する見通し。

今後の取り組み等
・主に国内顧客向けに従来品よりも検査効率が向上した新型光源装置を提供予定。
・自動運転に向けた車載用センサ等、更なる技術進歩により、中長期的にイメージセンサ市場は拡大していくと予測。顧客側にて設備増強を段階的に推進していく動きに変化は無いと想定。

環境エネルギー事業 売上高



・アフターコロナによるリバウンド需要等によって、乾燥脱臭装置及び排ガス処理装置の本体案件の販売は好調に推移する見通し。

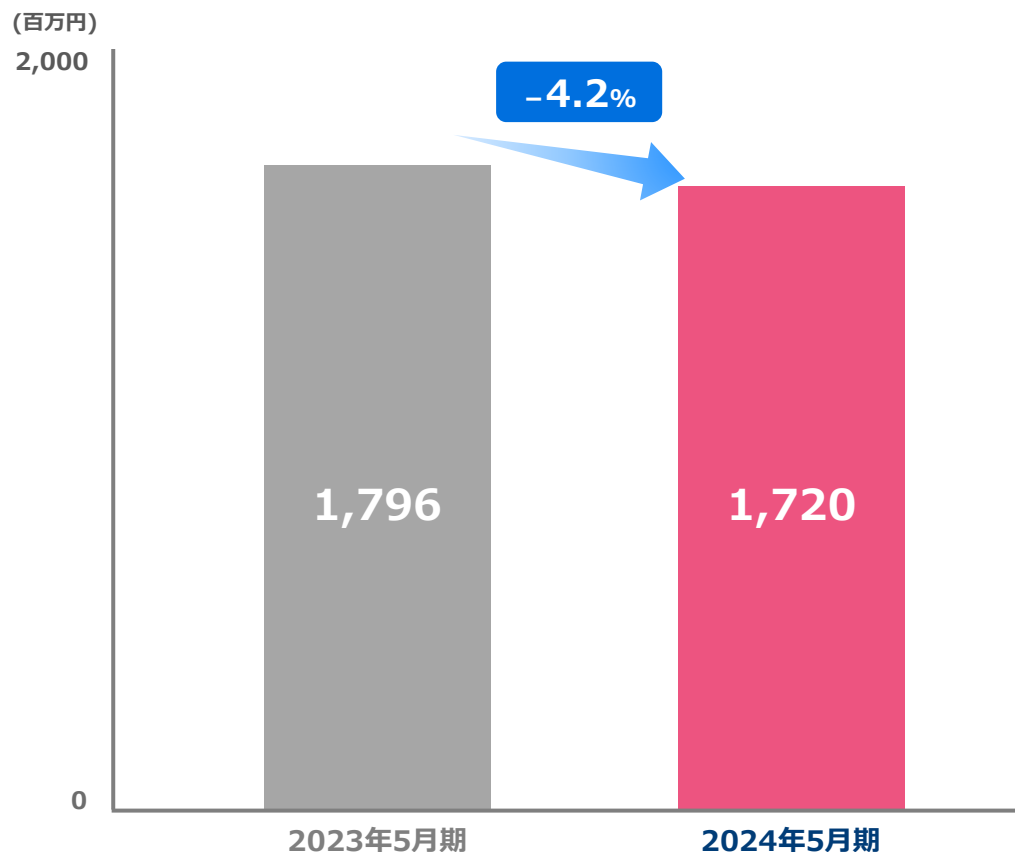


・世界的な部材不足の影響等によってメンテナンス案件及び装置本体は引き続き長納期化しており、積極的な営業がしづらい状況は継続する見通し。

今後の
取り組み等

・部材調達状況や顧客の設備投資動向等、注視が必要。
・引き続き、AEセンサ（故障予測/保全システム）等の新製品の開発を推進。

インダストリー4.0推進事業 売上高



・歯車試験機においては、工作機械業界の市況が堅調であることから、顧客の投資意欲も堅調に推移する見通し。



・精密除振装置においては、顧客側の設備投資動向が不透明な状況であるため、製品の販売は低調に推移する見通し。

今後の
取り組み等

・新製品である「AI画像処理装置」や「振動モニタリングアプリ」等の拡販活動に注力。新規市場の開拓を目指す。

・新規事業分野として「レーザー加工事業」を確立。レーザー加工装置の製品化に向けて研究開発を推進。

Appendix

会社概要

商号	株式会社インターアクション INTER ACTION Corporation	上場市場	東京証券取引所 プライム市場
設立	1992年6月25日	証券コード	7725
代表者	代表取締役社長 木地 伸雄	事業年度	自 6月1日 至 5月31日
資本金	1,760百万円	URL	https://www.inter-action.co.jp
従業員	126名（2023年5月末時点 グループ全体）	グループ会社	株式会社エア・ガシズ・テクノス 明立精機株式会社 株式会社東京テクニカル 西安朝陽光伏科技有限公司 陝西明立精密设备有限公司 MEIRITZ KOREA CO.,LTD Taiwan Tokyo Technical Instruments Corp. TOKYO TECHNICAL INSTRUMENTS (SHANGHAI) CO.,LTD 株式会社ラステック
本社所在地	神奈川県横浜市金沢区福浦1-1 横浜金沢ハイテクセンター14階 TEL:045-788-8373 FAX:045-788-8371		
事業所	横浜市中区・熊本県合志市・長崎県長崎市		

重要指標

Equity Spread
ROE

配当方針

総還元性向30%

M&A方針

成長分野・今後成長を見込める分野であること
培ってきた技術や事業のノウハウが、事業展開に活用できる分野であること
5年間の想定キャッシュ・フローをWACCで割り引いたNPVがプラスになること

メール配信サービス

インターアクショングループに関する様々な情報をメールでお届けします

当社HP「メール配信サービス」画面

https://www.inter-action.co.jp/ir/ir_mail/

ご登録いただきました情報は、IRメール配信サービスのみを使用します。

個人情報の取り扱いにつきましては、当社ホームページに記載しております

「個人情報保護方針」をご参照下さい

<https://www.inter-action.co.jp/privacy/>

お問い合わせ

株式会社インターアクション

経営企画室 経営企画グループ IR担当

神奈川県横浜市中区山下町 2 番地 産業貿易センタービル10階

TEL : 045-263-9220

<https://www.inter-action.co.jp/inquiry/>

HPお問い合わせ画面よりお問い合わせ下さい



注意事項

本資料に記載されている情報には、将来の業績等に関する見通しが含まれております。これらの見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づいて当社グループにより判断されたものであり、様々な潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の事業領域を取り巻く経済状況、市場の動向等の影響を受けるものであり、記載された見通しと大きく異なる結果となることがあることをご承知置き下さい。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、予めご了承ください。

事前の承諾なしに本資料に掲載されている内容の複製・転用等を行うことを禁止します。